



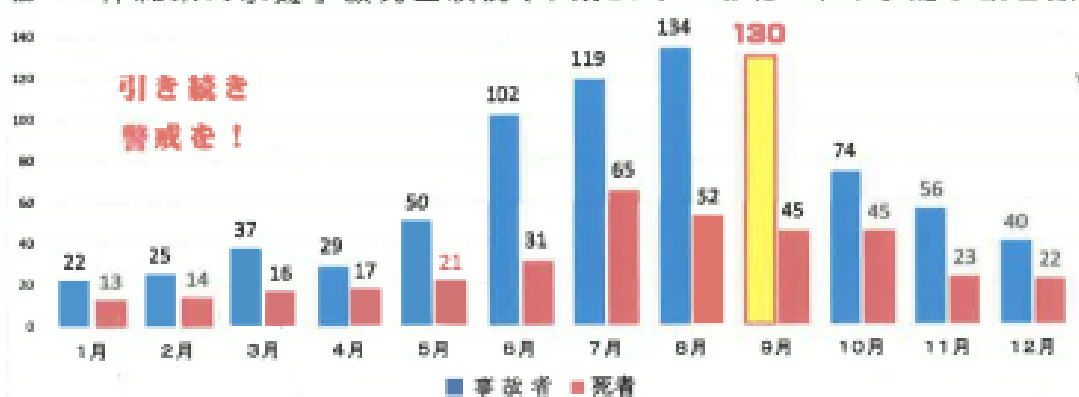
駐在所だより



水難事故を防ごう!

～ 9月は、月別で水難事故者数が2番目に多い～

沖縄県内水難事故発生状況(平成29年～令和2年の水難事故者数)



令和3年水難事故発生状況(沖縄県内、8月末)

1 水難事故が大幅増加!

- (1) 発生件数は 63 件 (前年同期比 + 15 件)
- (2) 事故者数は 94 人 (前年同期比 + 37 人)
- (3) 死者数は 30 人 (前年同期比 + 5 人)



2 県民の事故者が大幅増加!

- (1) 県民の事故者は 62 人 (前年同期比 + 25 人、全体の 66%)
- (2) 県外の事故者は 24 人 (前年同期比 + 6 人、全体の 25.5%)
- (3) 米軍人等の事故者は 8 人 (前年同期比 + 6 人、全体の 8.5%)

水難事故防止のポイント

- (1) 風向、潮流、離岸流、高波等の影響がある危険な場所に行かない。
- (2) 複数で泳ぎ、お互いに目を離さない。
- (3) 過労、睡眠不足、飲酒、薬を服用した状態で泳がない。
- (4) ライフジャケットやウェットスーツなどの浮力体を必ず着用する。
- (5) 海の危険生物への知識 (被害防止、被害時の応急処置要領の習得)

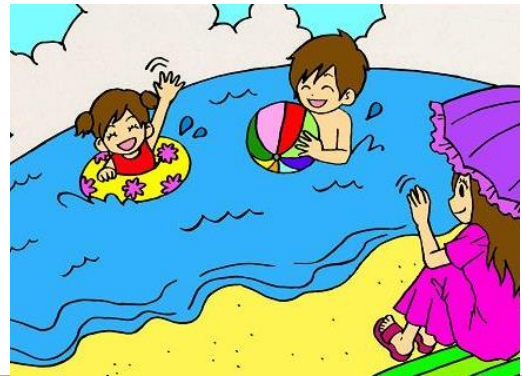


安全な利用のためにすべきこと

1 風向、潮流、離岸流、高波等の影響によって水難事故に遭う危険がある場所(場合)を利用しない。



2 複数での利用に努め、お互いに目を離さない。



3 過労、睡眠不足、飲酒、薬物服用の状態を利用しない。



4 ライフジャケットやウェットスーツなどの浮力体を必ず着用する。



5 器具等の正しい使用方法を習得し、使用前の点検・整備をする。



準備OK!

6 海洋危険生物への知識（被害防止方法、被害時の応急処置要領）を習得する。

- ・ハブクラゲ(酢をかけて触手を取り除く)
- ・カツオノエボシ(海水で触手を流す)
- ・オニダルマオコゼ(大きなトゲは取り除き、40～45℃のお湯につける)
- ・ガンガゼ(大きなトゲは取り除き、40～45℃のお湯につける)